

全学共通科目 総合系科目 [春学期期間外/2 単位]

**2025 年度 陸前高田プロジェクト 募集要項****スタンフォード大等アメリカの大学・香港大・シンガポール国立大 等との協働プログラム**

東日本大震災被災地の復興の歩みと現在について学び、地域の方と海外大学生と共に考える

株式会社オービックビジネスコンサルタント様・株式会社大塚商会様による支援プログラム

陸前高田プロジェクト募集情報サイト(RIKKYO SPIRIT)

<https://spirit.rikkyo.ac.jp/ghrd/rikutaka/SitePages/index.aspx>

(要 V-campus ID, 申込はこちらから)

**I. プログラムの概要**

岩手県陸前高田市は、4～5 階の建物の高さまで達したとされる津波の影響で、当時人口 24,246 名に対し行方不明者を含み 1,700 名を超える方が犠牲になりました。震災後、市では、防災・減災、そして「ノーマライゼーション」という言葉のいらないまち、すなわち誰もが希望を持ち安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて復興事業が続けられてきました。震災から 10 年をかけて約 10 メートルのかさ上げ工事や住宅再建用の宅地造成等が整備され、2021 年にはそのかさ上げされた土地に市役所の新庁舎が完成、現在に至るまで新たなまちの姿が広がりを見せています。一方で新しいまちづくりや活性化には向き合わなければならないこれからの課題が多くあります。今、年月を経て、陸前高田市に関係する方々がどのように震災に向き合っているかを知ること大切なことです。

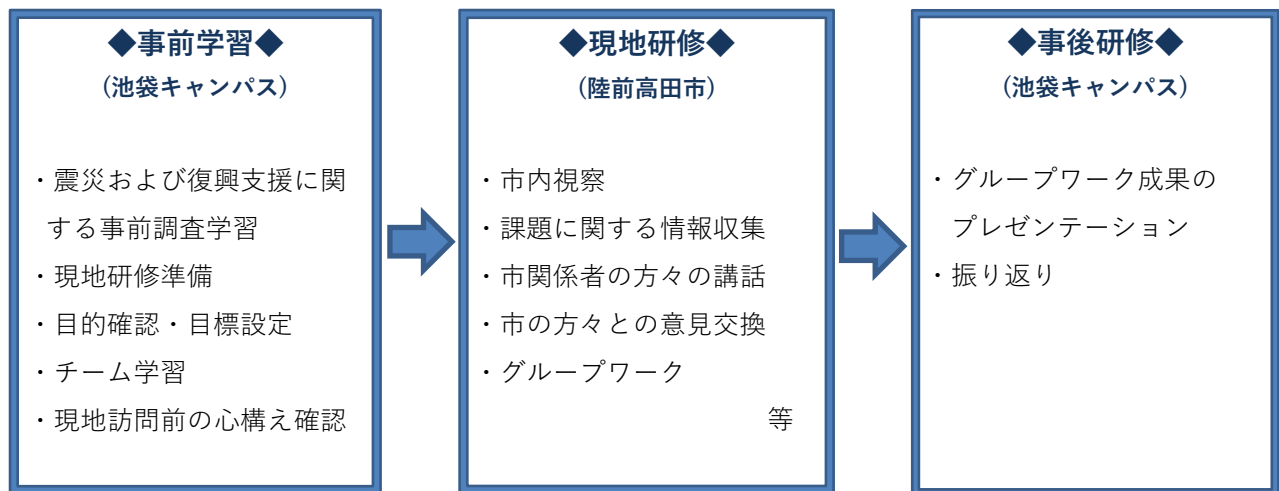
立教大学は震災発生前から長年の交流がある陸前高田市での課題基盤型学習プログラムを 2013 年度から継続して実施しています。本プログラムを通し震災被災地の現状を多くの学生が知り、課題を共有していきたいと考えてきました。また、海外の大学生との協働によって、より広く多様な視点から課題に向き合い考えを深めます。

**【プログラムの目的】**

- ・ 陸前高田市の被災時の状況やこれまでの取り組み・現状を知る
- ・ 市や市民の方々の抱える課題を共有する
- ・ 海外の大学生も交えたディスカッションや協働作業を通し、多様な視点で課題について深く思考し共有する



## 【基本授業構成】



## II. 2025 年度実施要領

### ◆科目開講区分／単位

- ・全学共通科目 総合系科目 多彩な学び「陸前高田プロジェクト」
- ・春学期期間外科目 2 単位

### ◆参加大学（予定）

立教大学、スタンフォード大学等アメリカの大学、香港大学、シンガポール国立大学

### ◆担当者

高井 明子先生（グローバル教育センター客員教員, Save the Children Japan 専務理事・事務局長）

Yuki Ueda 先生（VIA [Volunteers in Asia]（スタンフォード大学ゆかりのボランティア団体）Program Director）

### ◆使用言語

英語

### ◆プログラムテーマ

「陸前高田市の歩みから持続可能な都市について学び、地方都市が持続可能な都市となるために自分たちにできることを考えよう」

ー SDGs「11 住み続けられるまちづくりを」の視点からー

### ◆スケジュール

- ▷事前研修: 7 月 12 日(土) 14:30-17:30 @池袋キャンパス（立教生のみ）
- ▷事前研修: 8 月 23 日(土) @池袋キャンパス（海外大生合流）
- ▷現地研修: 8 月 24 日(日)～8 月 28 日(木) @陸前高田市（現地研修）
- ▷事後研修: 8 月 29 日(金) @池袋キャンパス

- ・8 月の日程は各日、終日予定を空けておいてください。
- ・全日程に参加できることが申込条件

#### ◆参加費

プログラム費（参加者からの集金予定額）：2～3 万円程度

※確定金額や支払い方法は参加者確定後に案内する

〈プログラム費の考え方〉

・現地研修にかかる往復交通費・宿泊費・食費は参加者負担。プログラム費として大学が事前に集金。食費に関し、グループ行動など分かれて食事を摂る際はプログラム費と別に個別支払う。

・必要経費（見込み）：5～6 万円程度

※本プログラムは「立教大学陸前高田サテライト利用に係る交通費・宿泊費援助金」の対象であり、必要経費から援助金支給分を相殺した金額をプログラム費として算出し各参加者から集金する。

「[立教大学陸前高田サテライト利用に係る交通費・宿泊費援助金](#)」

- 前年度支給実績：38,000 円（同援助金初回利用者の場合）

- 支給金額は都度審査のため変動可能性あり

※万一自己都合で不参加となった場合、タイミングによりキャンセル料が発生する。

〈本プログラムの運営費について〉

・本プログラムは、株式会社オービックビジネスコンサルタント様および株式会社大塚商会様よりいただいた指定寄付により、上記集金料金以外に必要なプログラム運営費を負担し実施しています。

#### ◆感染症の拡大防止

・本プログラム参加者は、各自感染症拡大防止に配慮した行動をとる必要があります。

### III. 2025 年度募集要領

#### ◆募集（履修）対象

- ・学部 1～4 年生
- ・全学部全学科対象

#### ◆参加条件

- ・2025 年度春学期に在学していること（休学する者は不可）。ただし、在学留学等の事由により春学期開講科目の履修資格がない場合は本科目への申請は受け付けない。
- ・事前研修・現地研修・事後研修の全日程に参加可能な者
- ・英語によるコミュニケーション能力を有し、かつプログラム中は英語でコミュニケーションを行う意志のある者  
（資格スコア条件は設けないが、プログラムは全て英語で行われるため英語でディスカッション等が行えるレベルが必要）

#### ◆募集人数

立教生 10 名程度（海外大生計 10 名程度、総計 20 名程度を予定）

## IV. 2025 年度 申込手順

### ◆申込方法

下記 URL の申請フォームから設問に回答し申込むこと。

<https://forms.gle/5YgvUC9XfEXwG5eb7> (要 V-CampusID/PW)

※フォームでは以下の内容の入力も必要となるので、事前に考えをまとめてから入力を行うこと。

「陸前高田市や東日本大震災についてあなたが考えていること」(300～400 字程度 or 英語 200 words 程度)、  
「ボランティア経験(団体名、日時、場所、学んだこと)」(300～400 字程度 or 英語 200 words 程度)、  
「海外滞在／活動経験、国際交流経験(国・地域名、年月、期間、経験内容、学んだこと・感じたこと)。オンライン経験含む。長期滞在や修学プログラムに限定しない」(300～400 字程度 or 英語 200 words 程度)  
「志望理由・プログラム参加にあたっての目標」(英語 300 words 程度)

### ◆申込に必要な提出物

以下に示す提出物を事前に準備の上、申請フォームの指示に従ってアップロードすること。

提出物はフォームへの回答内容とともに本プログラム運営関係者で共有されます。

#### 1. 以下の内容/条件で撮影した動画

- ・自己紹介、プログラム参加を希望する理由、本プログラム参加のための自己 PR を述べる
- ・英語で話すこと
- ・2 分程度
- ・申込者自身の顔が映るように撮影すること
- ・冒頭に「所属学部、学科、学年、氏名」を述べてから開始すること

※動画は連続で撮影し、複数動画のつなぎ合わせなどの編集を行わないこと

※フォーマットは MP4 推奨 (MOV、AVI 可)、サイズ 500MB まで

#### 2. 成績参照画面の PDF データ

- ・4 月 22 日 10:00 以降に出力し当年度春学期の履修登録科目が反映されたもの。
- ・最終ページまで  
(成績参照画面の印刷用ページから PDF 化できます)

#### 3. 英語能力証明書の写し

- ・大学で受験した TOEIC IP 可。PDF または写真等の画像データを提出。

### ◆申込期間

**募集説明会後 ～ 5 月 28 日(水) 17:00 ※ 締切厳守**

### ◆選考方法

選考① 書類選考(申込フォーム入力内容および提出物の内容による選考)

選考② 面接選考(①の選考合格者に対し、オンライン面接選考を行い合格者を確定)

※6/3 までに、選考①の結果通知ならびに合格者に対しては面接日時を連絡します。連絡は立教のメールアドレス宛に行います。

### ◆選考基準◆

書類選考および面接選考により、応募者の適性や能力(参加意欲、英語運用スキル、プログラムへの理解・マッチング等)に加え、チーム全体の構成やバランス等を総合的に勘案し可否を決定する。

### ◆オンライン面接日時

6 月 4 日(水)～7 日(土)、時間帯は申請フォームに掲載。

### ◆選考結果発表

6 月 10 日までに通知予定(立教のメールアドレスへ面接選考の可否結果を通知します)

## V. 履修登録・成績

### (1) 単位数・単位算入先

|          |                                                                                                               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【科目展開区分】 | 全学共通科目 総合系科目 多彩な学び                                                                                            |
| 【科目名】    | 「陸前高田プロジェクト」                                                                                                  |
| 【対象学年】   | 全学部生 1～4 年次生<br>※在学 8 学期目以降の学生は履修登録および参加不可<br>※全学共通科目総合系科目「多彩な学び」科目群は原則 1 年次秋学期以降に履修可能となるが、本科目については 1 年次生も履修可 |
| 【単位数】    | 2 単位                                                                                                          |
| 【開講学期】   | 2025 年度春学期（期間外）科目                                                                                             |

### (2) 履修登録・履修登録上限

- 参加確定後、大学が履修登録を行う。登録後自身で履修登録状況画面を確認のこと。
  - 本科目は全学共通科目総合系科目の年間履修登録上限（12 単位）に算入される。  
例）総合系科目の春学期における履修登録上限(6 単位)まですでに履修登録している場合を含め、総合系科目の年間履修上限単位(12 単位)および各学部の定める年間の履修登録上限に達していない場合はその範囲内で本科目を履修することができる。
- ※ 履修に関して不明な点は、申請前に教務事務センターへ事前に確認すること

### (3) 成績

- 成績評価：「合格」／「不合格」。成績評価方法／割合：[シラバス参照](#)
- 事前研修・現地研修・事後研修すべてに参加し、すべての提出物の提出を完了した者に対し成績の評価を行う。学校感染症等への罹患により現地研修に参加できない場合も含め、採点は成績・評価方法基準に従い厳正に行う。現地研修の全日程に不参加の場合は評価の対象とせず不合格となる
- 実習時期の都合上、成績発表は通常より遅い 9 月下旬の予定（秋学期科目履修登録後）

### (4) 履修に関する注意事項

- 参加申込前に 2025 年度の [R-Guide](#)(総合系科目に関する記載および「[陸前高田プロジェクトの履修について](#)」)および[シラバス](#)等の記載事項をすべて確認すること
- 履修中止不可
- 追試験期間と本プログラム参加期間が重複し、追試験を受験できない可能性も想定されるが、本科目の実習への参加を理由に既定の追試験日程を変更することはできない。履修要項を確認した上で必要に応じて教務事務センターに確認のこと
- 登録済の別の春学期他科目（集中科目等）や春学期期間外科目と実施日時が重複する場合履修登録不可

〈問合せ先〉

立教大学グローバル教育センター（池袋キャンパスマキムホール 2 階）

email: [cghrd-rtpj@rikkyo.ac.jp](mailto:cghrd-rtpj@rikkyo.ac.jp)

以上

[2024 年度の実施報告はこちら](#)

